

令和6年度 第1回静岡市自然の家運営協議会 議事録

1 日 時 令和6年7月25日(木) 10時30分～12時15分

2 場 所 南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家

3 出席者

【委員】

加藤委員、遠藤委員、望月委員、鈴木委員、脇坂委員、櫻井委員、小山委員  
光後委員、菅沼委員、細川委員 (欠席者：武田委員、森山委員、及川委員、青木委員)

【事務局】

〈教育総務課〉

本野局次長、飯田課長、川口係長

〈南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家〉

中島所長、中西参事兼次長、山本指導主事、坂本指導主事、望月指導主事  
鈴木主事

4 傍聴者 0名

5 委嘱状・任命書の交付

新しく委嘱・任命された2人の委員に本野局次長より委嘱状・任命状を手渡す。

6 議事

(1) 報告事項

- ① 運営方針
- ② 令和5年度事業報告
  - ア 年間利用状況
  - イ 主催事業活動報告
- ③ 令和5年度第2回運営協議会提言後の取組について
- ④ 令和6年度事業計画

(2) 協議事項 「井川自然の家をより魅力的な施設にするために」

## 7 会議内容

### (1) 報告事項

①②③④については、事前に資料を配布してあるため、事務局から簡単に説明後、質疑応答に入る。

#### 《①②③④についての質疑応答》

脇坂委員	施設のインターネットの予約に期限はあるのか。
事務局	条例で決まっており、利用日の 10 日前が予約期限である。
櫻井委員	一般個人の利用者急増の要因は、インターネットから予約できるようになったほかに、何か努力したことはあったか。
事務局	以前は紙の郵送での予約受付であったので、インターネット予約ができるようになったのが大きな要因と考える。各庁舎にインターネット予約の案内ブースを作ったり、SNS での発信や、スポーツ店にチラシを張らせてもらったりする等の広報活動に力をいれた。
櫻井委員	一般個人の利用が増えていく中で、利用者層が変化していると思われる。それに合わせて活動内容などを変えているのか。
事務局	学校向けのプログラムと一般利用のプログラムを分けている。 一般利用向けのプログラムは、キャンプファイヤーや簡易的なウォークラリーコース等を設けている。
小山委員	一般個人利用が増えている中で、食堂はどのくらい動いているのか。
事務局、加藤委員	一人の利用からでも食堂を稼働するようにしている。
菅沼委員	食事予約のキャンセルポリシーはどうなっているか。
加藤委員	一週間前までの申告ならキャンセル料は発生しない。前日までは 70%、当日は 100%キャンセル料が発生する。

(2) 協議事項 「井川自然の家をより魅力的な施設にするために」

※委員出席者を A グループ、B グループに分け、グループディスカッション形式をとった。

A グループ	
細川委員	施設見学させていただき、きれいな部屋だと感じた。インターネット予約は素晴らしい。ただ、道中看板が少なく、初めての人には分かりづらい。沢登り体験では、興津川に比べて石が大きく様子が違う。土砂崩れの怖さなど自然災害を考える機会にもなる。
事務局	和田島で体験できなくなった分、横沢での体験プログラムを作った。1時間から1時間半程度。地元の人との協力で学校跡地の集会所を利用してもらい、大雨の2日後でも安全に実施できた。前は、途中で沢登り体験を実施したことにより、子どもたちは車酔いしなかった。
櫻井委員	学校の予約状況は。
事務局	中藁科、伝馬町、大河内、井川など。
櫻井委員	大規模校は難しく、市街地も含めた小規模校にターゲットを絞って PR したら利用してくれるかも。
望月委員	多くの市内の小学校や子ども会など、朝霧を利用している。
事務局	朝霧も良いと思うが、井川は学校のサポートがしっかりできると思う。炊飯で黒焦げなしを実践している。
櫻井委員	自然の家を利用した際には、是非本村にも来ていただき、児童・生徒との交流もできればと思う。
望月委員	井川に子ども会はあるか。
櫻井委員	現在無い。
光後委員	スポーツ合宿だけして帰るのではなく、一般利用でナイトハイクはできないか。
事務局	事前に希望連絡いただければ対応できる。他に意見等があれば、また教えていただきたい。様々な貴重な意見をいただき、大変参考になった。

Bグループ 脇坂委員	学校利用が減る要因として、子どもたちのバス酔いは大きいと考える。施設に食堂があるのは良い。
加藤委員	食事もおかわりを必ず用意したり、井川の野菜を使ったりと利用者に満足していただけるよう努力している。最近はアスリート層を狙い、民間企業と協力してアスリート食メニューを準備しようと試みている。
遠藤委員	自然の家につくまでに行けるプログラムをもっと増やせたらいい。途中で下車してできる沢登りやハイキング等増やせていけたら、バス酔いでの回避も避けられる可能性が高い。
小山委員	自然の家の所員が丁寧なところがとても良い。自然体験しながら人間関係も深められるプログラムがあるとなお良い。また、自然の家を知ってもらうために出前学習はいい宣伝になるのではないかな。
鈴木委員	主催事業の内容が変わっていないのが保守的に感じられる。リピーターも大事だが、新しいことをしていけばさらに周りの目を引けるのではないかな。また、スポーツ部だけでなく文化部にも宣伝をしたらどうか。
菅沼委員	利用者アンケートの内容を精査して、そこで得た声を主催事業にいかしていけば口コミで集まってくるのではないかな。

令和 6 年 8 月 7 日 静岡市自然の家運営協議会

議事録署名人

櫻井守